

科目名	医療福祉研究 [院]					単位	2.0
担当教員	室田 人志						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	2683

### ●授業のテーマ

患者とその家族への支援にかかわる医療福祉領域の考え方・アプローチの方法を学び、医療福祉の今日的課題を考究する。

### ●到達目標

1. 戦後の医療技術革新の動向と医療政策の関連を理解することができる。
2. 医療費抑制等医療政策の変遷を理解することができる。
3. 患者とその家族への支援にかかわる医療福祉領域の考え方・アプローチの方法を事例研究等によって学ぶことができる。
4. 受講者自身の医療福祉実践を省察し、医療福祉の課題を明らかにすることができる。

### ●学習内容(授業概要)

病人・患者に焦点を当てて、疾病の歴史的変遷、それに伴う医療技術の発展過程、医療福祉政策の変遷にかかわる理解を深める。

そのうえで、医療制度改革によって医療費適正化施策が実施されている実態を捉え、医療の機能分化や医療費抑制策の動向を分析する。

さらに、病人・患者に現れている今日の医療福祉問題、とりわけ「退院問題」の構造的問題を捉え、患者とその家族への医療ソーシャルワークの方法論にも触れながら、履修者自身の実践を振り返り、医療福祉の今日的課題を明確化することに取り組む。

### ●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション～医療福祉研究で何を学ぶか。
2. 戦後の医療技術革新の変遷と特徴を理解する。
3. 医療法改正等の医療政策の変遷との関連を理解する。
4. 医療技術革新の問題点を理解する。
5. 患者とその家族が抱える生活障害の発生構造(対象把握)を理解する。
6. 患者とその家族の生活支援にかかわるソーシャルワークの考え方を理解する。
7. 患者とその家族の生活支援にかかわるソーシャルワークの理論モデルを学ぶ。
8. 患者とその家族の生活支援の展開を学ぶ。
9. 生態学モデル、システム論、ストレングス・モデル、エンパワメント・アプローチ等を実践的に理解する～事例研究を通して。
10. 多専門職種との連携・協働による生活支援の方法を理解する。
11. 医療福祉実践にかかわる先駆的モデルから学ぶ。
12. 事例研究を通して、医療福祉実践の課題について考える。
13. 今日の政策動向から医療福祉の課題を考える～病院医療を中心として。
14. 今日の医療・介護政策から医療福祉を考える～在宅医療・介護の課題を考える。
15. まとめ

### ●準備学習・事後学習の内容

準備学習：毎回の授業で取り上げるテキスト内容の要旨をまとめることと、関連する動向も取り上げてレポ

ートにまとめること。

事後学習：講義等で学習した内容、新たな発見・気づき等をまとめていくこと。

●成績評価方法・基準

①授業時のミニレポートおよび期末試験(レポート等)により、到達目標の内容を具体的に説明できることによって評価する。

②習得度は、授業時におけるミニレポート(40%)、学期末レポート(60%)により総合的に評価し、60点以上を合格とする。

●テキスト(必携)

●参考文献/その他

「21世紀への社会保障改革」川上武著 勁草書房

「医療ソーシャルワークの現代性と国際性」児島美都子著 勁草書房

「地域ケアと退院計画」太田貞司編著 萌文社

「日本の医療はどこへいく～医療構造改革と非営利・協同」非営利・協同総合研究所いのちとくらし編 新日本出版社

「医療改革～危機から希望へ～」二木立著 勁草書房

「医療改革と財源選択」二木立著 勁草書房

「がん患者、お金との闘い」札幌テレビ放送取材班著 岩波書店

●履修上の注意

授業が始まるまでに可能な限り参考文献を読了し、かつ医療制度改革に関する資料を収集しておくこと。